

秋田市郊外部での不採算路線の取扱いについて

1 バス路線維持方策の検討経緯

- (1) 平成12年度より交通局の38路線を秋田中央交通(株)へ移管
- (2) 平成16年 1 月15日秋田中央交通(株)から、不採算路線の移管に伴う赤字の拡大により、企業としての存続の危機、不採算路線の維持方策の検討・提示について要望書提出
- (3) (2)の要望書を受けて庁内でバス路線を維持する方策を検討し、平成17年 2 月にとりまとめ

2 バス交通に関する市の維持方策

- (1) 平成17年度に市単独補助制度を創設
- (2) 不採算路線の郊外部に代替交通手段を導入
- (3) バス事業者へ路線再編やダイヤ改正等の抜本的な見直しを促す
- (4) 地域の協力および主体的な取り組みを前提とした移動手段の確保

3 地域別の取り組みについて

- (1) 西部地域（豊岩線、下浜線、浜田線）
 - 平成15年度に利用実態調査を実施
 - 平成17年10月より、委託運行（マイタウン・バス西部線）を導入
 - 平成18年 2 月に第 1 回秋田市マイタウン・バス西部線運行協議会を開催（平成17年度利用実態の報告）
 - 平成19年 3 月に第 2 回秋田市マイタウン・バス西部線運行協議会を開催（平成18年度利用実態の報告、今後の利用促進策の検討）
- (2) 北部地域（堀内線、下新城線、小友線、上新城線）
 - 平成16年度に利用実態調査を実施
 - 平成18年10～11月に、利用実態調査の結果について説明会を 4 回実施
 - 平成19年 2 ～ 3 月に、国土交通省東北運輸局と秋田市が共同して追加アンケートを実施
 - 平成19年 3 月に、第 1 回秋田市北部地区公共交通研究会を開催
 - 平成19年度中に、東北運輸局と秋田市が共同して実証実験を実施（予定）
実証実験の結果を踏まえ、代替交通手段を導入
- (3) 東部地域（下北手線、上北手線、木曽石線、仁別線、太平線）
 - 平成17年度に利用実態調査を実施
 - 実態調査を検証のうえ、北部地域の取り組みを踏まえつつ、運行形態を検討
- (4) 南部地域（岩見三内線、雄和線、雄和循環線）
 - 平成18年度に利用実態調査を実施
 - 実態調査を検証のうえ、北部地域の取り組みを踏まえつつ、運行形態を検討